オランダ人は江戸城で踊れと命じられ、英国公使は寺に住み、モースは街を歩き回った

1639年から1854年まで、日本に入ることを許されたヨーロッパ人は、オランダ人だけでした。のちにケンペルの一行も、江戸城で将軍に会ったときに、「舞へ踊れ」と命じられています。安政六年（1859年）、英国公使のオールコックは、江戸の東禅寺という寺を宿舎にしました。 1877年に東京にいたアメリカ人のモースは、いまは護衛もなく街を歩き回っている、と記しています。

将軍の時代には江戸に住むことも許されなかった外国人が、のちには護衛もなく街を歩き回るようになったのです。

From 1639 to 1854, the only Europeans allowed into Japan were the Dutch. Later, when Kaempfer's party met the shogun in Edo Castle, they too were told, "Dance!" In the sixth year of Ansei, 1859, the British Minister Alcock took a temple in Edo, Tōzenji, as his residence. The American Morse, who was in Tokyo in 1877, wrote that he could now roam the city with no guard.

Foreigners who under the shoguns had not even been allowed to live in Edo came, later on, to roam the city unguarded.

Van 1639 tot 1854 waren de Nederlanders de enige Europeanen die Japan in mochten. Later kreeg ook het gezelschap van Kaempfer, toen het de shogun in het kasteel van Edo ontmoette, het bevel: "Dans!" In het zesde jaar van Ansei, 1859, nam de Britse gezant Alcock een tempel in Edo, de Tōzenji, als verblijf. De Amerikaan Morse, die in 1877 in Tokio was, schreef dat hij nu zonder bewaking door de stad zwierf.

Buitenlanders die onder de shoguns niet eens in Edo mochten wonen, gingen later onbewaakt door de stad zwerven.

長崎のオランダ商館の日誌に、ある奉行の言葉が記録されています。奉行は、ここではオランダ人は出島に、まるで牢屋に入っているように座っている、と言ったのです。のちに、江戸へ向かったケンペルの一行は、江戸城で将軍に会いました。そこで一行は、「舞へ踊れ」（舞え、踊れ）と命じられます。ケンペル自身は歌を唄うよう命じられた、と『ケンプェル江戸参府紀行』に記録されています。

時は下って安政六年（1859年）、英国公使のオールコックは、東禅寺を宿舎に選び、三十人ほどで入りました。オールコックは、この建物ほど無防備で守りようのない場所はない、と感じていました。表の二十箇所から入って、自分の寝床まで歩いて来られる、とオールコックは記しています。

1877年、東京にいたアメリカ人のモースは、赤門をスケッチに残しています。モースは大学の教授で、大学の教師は政府の役人とみなされ、市内のどこにでも住めた、と記しています。将軍の時代には、外国人は江戸に住むことを許されなかった、とも記します。それがいまは、「roaming round the city unguarded」（護衛もなく街を歩き回っている）のです。

The diary of the Dutch trading post at Nagasaki records the words of a certain governor. The governor said that here the Dutch sat on Dejima as if they were in a prison. Later, Kaempfer's party, on its way to Edo, met the shogun in Edo Castle. There the party was ordered, "Dance!" Kaempfer himself was ordered to sing a song, the Kempferu Edo Sanpu Kikō records.

In the sixth year of Ansei, 1859, the British Minister Alcock chose Tōzenji as his residence and moved in with some thirty people. Alcock felt that no place could be more insecure or indefensible than this building. He records that men could enter along the front at twenty places and walk right up to his bed.

In 1877 the American Morse, then in Tokyo, left a sketch of the Akamon, the Red Gate. Morse was a university professor, and he records that university teachers were regarded as government officers and could live anywhere in the city. He also records that under the shoguns no foreigner was allowed to live in Yedo. And now, here they were, "roaming round the city unguarded."

Het dagregister van de Nederlandse handelspost in Nagasaki vermeldt de woorden van een gouverneur. De gouverneur zei dat de Nederlanders hier op Desima zaten alsof zij in een gevangenhuis zaten. Later ontmoette het gezelschap van Kaempfer, op reis naar Edo, de shogun in het kasteel van Edo. Daar kreeg het gezelschap het bevel: "Dans!" Kaempfer zelf kreeg het bevel een lied te zingen, vermeldt de Kempferu Edo Sanpu Kikō.

In het zesde jaar van Ansei, 1859, koos de Britse gezant Alcock de Tōzenji als verblijf en trok er met zo'n dertig mensen in. Alcock vond dat er geen onveiliger en onverdedigbaarder plek kon zijn dan dit gebouw. Hij schrijft dat men aan de voorkant op twintig plaatsen binnen kon komen en zo tot aan zijn bed kon lopen.

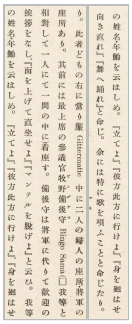
In 1877 legde de Amerikaan Morse, die toen in Tokio was, de Akamon, de Rode Poort, vast in een schets. Morse was hoogleraar aan de universiteit, en hij schrijft dat leraren van de universiteit als regeringsambtenaren golden en overal in de stad mochten wonen. Hij schrijft ook dat onder de shoguns geen buitenlander in Yedo mocht wonen. En nu waren zij "roaming round the city unguarded" (onbewaakt door de stad aan het zwerven).

れきしねた ガイドネタ帳 | Rekishi-Neta Guide Notes | © 2026 Rekishi-Neta

S8-nl アメリカ・イギリス・オランダから来たお客様　皇居東御苑・他

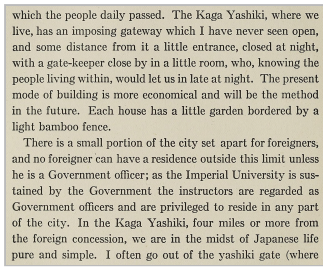
お客様用

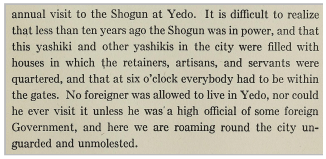
記録の言葉



『ケンプェル江戸参府紀行』下巻（異国叢書、駿南社、昭和4年）

> 将軍の座所あり。其前には最上席の參議官牧野備後守Bingo Sama…備後守は將軍に代りて歡迎の挨拶をなし p.50
>
> 『立てよ』、『彼方此方に行けよ』、『身を廻はせ向き直れ』、『舞へ踊れ』と命じ。余には特に歌を唄ふことと命じたり p.50





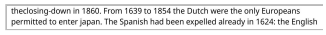
Edward S. Morse『Japan Day by Day, 1877, 1878-79, 1882-83』Vol. I（Boston and New York: Houghton Mifflin, 1917）

> There is a small portion of the city set apart for foreigners, and no foreigner can have a residence outside this limit unless he is a Government officer; as the Imperial University is sustained by the Government the instructors are regarded as Government officers and are privileged to reside in any part of the city. In the Kaga Yashiki, four miles or more from the foreign concession, we are in the midst of Japanese life pure and simple. p.316
>
> It is difficult to realize that less than ten years ago the Shogun was in power, … No foreigner was allowed to live in Yedo, nor could he ever visit it unless he was a high official of some foreign Government, and here we are roaming round the city unguarded and unmolested. p.375



東京大学編『東京大学法理文三学部年報』第7年報（明治11-12年）（東京大学、明治12年）

> 三十一日動物學生理學教授米國人モールス滿期職ヲ解ク p.23



M. P. H. Roessingh『Inventaris van de archieven van de Nederlandse Factorij in Japan te Hirado [1609-1641] en te Deshima, [1641-1860], 1609-1860』（Den Haag: Nationaal Archief, 1964。版 2025年3月17日）

> From 1639 to 1854 the Dutch were the only Europeans permitted to enter japan. p.10

れきしねた ガイドネタ帳 | Rekishi-Neta Guide Notes | © 2026 Rekishi-Neta

S8-nl アメリカ・イギリス・オランダから来たお客様　皇居東御苑・他　ガイド用 ／ お客様にはお見せしません

オランダ人は江戸城で踊れと命じられ、英国公使は寺に住み、モースは街を歩き回った

読み上げる文（お客様用の紙と同じもの）

1639年から1854年まで、日本に入ることを許されたヨーロッパ人は、オランダ人だけでした。のちにケンペルの一行も、江戸城で将軍に会ったときに、「舞へ踊れ」と命じられています。安政六年（1859年）、英国公使のオールコックは、江戸の東禅寺という寺を宿舎にしました。 1877年に東京にいたアメリカ人のモースは、いまは護衛もなく街を歩き回っている、と記しています。

将軍の時代には江戸に住むことも許されなかった外国人が、のちには護衛もなく街を歩き回るようになったのです。

From 1639 to 1854, the only Europeans allowed into Japan were the Dutch. Later, when Kaempfer's party met the shogun in Edo Castle, they too were told, "Dance!" In the sixth year of Ansei, 1859, the British Minister Alcock took a temple in Edo, Tōzenji, as his residence. The American Morse, who was in Tokyo in 1877, wrote that he could now roam the city with no guard.

Foreigners who under the shoguns had not even been allowed to live in Edo came, later on, to roam the city unguarded.

長崎のオランダ商館の日誌に、ある奉行の言葉が記録されています。奉行は、ここではオランダ人は出島に、まるで牢屋に入っているように座っている、と言ったのです。のちに、江戸へ向かったケンペルの一行は、江戸城で将軍に会いました。そこで一行は、「舞へ踊れ」（舞え、踊れ）と命じられます。ケンペル自身は歌を唄うよう命じられた、と『ケンプェル江戸参府紀行』に記録されています。

時は下って安政六年（1859年）、英国公使のオールコックは、東禅寺を宿舎に選び、三十人ほどで入りました。オールコックは、この建物ほど無防備で守りようのない場所はない、と感じていました。表の二十箇所から入って、自分の寝床まで歩いて来られる、とオールコックは記しています。

1877年、東京にいたアメリカ人のモースは、赤門をスケッチに残しています。モースは大学の教授で、大学の教師は政府の役人とみなされ、市内のどこにでも住めた、と記しています。将軍の時代には、外国人は江戸に住むことを許されなかった、とも記します。それがいまは、「roaming round the city unguarded」（護衛もなく街を歩き回っている）のです。

The diary of the Dutch trading post at Nagasaki records the words of a certain governor. The governor said that here the Dutch sat on Dejima as if they were in a prison. Later, Kaempfer's party, on its way to Edo, met the shogun in Edo Castle. There the party was ordered, "Dance!" Kaempfer himself was ordered to sing a song, the Kempferu Edo Sanpu Kikō records.

In the sixth year of Ansei, 1859, the British Minister Alcock chose Tōzenji as his residence and moved in with some thirty people. Alcock felt that no place could be more insecure or indefensible than this building. He records that men could enter along the front at twenty places and walk right up to his bed.

In 1877 the American Morse, then in Tokyo, left a sketch of the Akamon, the Red Gate. Morse was a university professor, and he records that university teachers were regarded as government officers and could live anywhere in the city. He also records that under the shoguns no foreigner was allowed to live in Yedo. And now, here they were, "roaming round the city unguarded."

お客様にとっての発見

将軍の時代、オランダ人は出島にまるで牢屋にいるようだと言われ、英国公使のオールコックは無防備な寺に住み、1877年に東京にいたモースは、いまは護衛もなく街を歩き回っていると記しました。お客様は、自分の国の人がそれぞれの時代に江戸でどう暮らしたかを、ほかの二つの国の人と比べて見つけます。

語り方のコツ

- **「オランダ人は、牢屋に入れられていたのか」と尋ねられたら**

  「牢屋に入れられていたとは、記録には書かれていません。長崎の奉行が、オランダ人は出島に、まるで牢屋に入っているように座っている、と言ったと、商館の日誌に記録されています」とお答えください。

- **「ケンペルとは誰か」と尋ねられたら**

  「オランダの東インド会社が日本へ送った使節に、医員として随行した人です。紀行の訳書に載る呉秀三の小伝に、そう記されています」とお答えください。

れきしねた ガイドネタ帳 | Rekishi-Neta Guide Notes | © 2026 Rekishi-Neta

S8-nl アメリカ・イギリス・オランダから来たお客様　皇居東御苑・他　ガイド用 ／ お客様にはお見せしません

どこまで断定してよいか

断定してよい

鎖国とオランダについて

- 長崎のオランダ商館の日誌は、奉行が Arima の領主に、オランダ人は出島にまるで牢屋に入っているように座っている、と言ったと書く（Colenbrander 編のバタヴィア城日誌の刊本の注）
- 1639年から1854年まで、日本に入ることを許されたヨーロッパ人はオランダ人だけだった（Roessingh 編の出島オランダ商館文書の目録）

江戸城での拝謁について

- オランダ商館の一行は江戸城で将軍に拝謁した（『ケンプェル江戸参府紀行』下巻）
- 呉秀三の小伝は、ケンペルが日本への使節に医員として随行したと書く（呉秀三訳註『ケンプェル江戸参府紀行』上巻）

命じられたことについて

- 一行は「舞へ踊れ」と命じられ、ケンペル自身は歌を唄うよう命じられた（『ケンプェル江戸参府紀行』下巻）

公使館としての東禅寺について

- 東禅寺に英国公使館が置かれ、慶応元年までオールコックの宿館として使われた（文化庁「東禅寺」）
- オールコックは安政六年六月一日に東禅寺を宿舎に選び、七日に三十人ほどで入った（港区立郷土歴史館「特集 最初のイギリス公使館東禅寺」『資料館だより』第65号）

オールコックの見た東禅寺について

- オールコックは、この建物ほど無防備で守りようのない場所はないと感じていたと書く（Rutherford Alcock『The Capital of the Tycoon』Vol. II）

モースの来日と Kaga Yashiki の暮らしについて

- モースは、大学の教師は政府の役人とみなされ、市内のどこにでも住めると書く（Morse の Japan Day by Day 第1巻）
- モースは、将軍の時代には外国人は江戸に住むことを許されなかったと書く（同）
- 同じ文で、いまは護衛もなく、邪魔もされずに市中を歩き回っていると書く（同）
- 東京大学の年報は、動物学・生理学の教授の米国人モールスが満期で職を解かれたと書く（東京大学編『東京大学法理文三学部年報』第7年報（明治11-12年））

Kaga Yashiki の正門について

- 1877年にモースが残したスケッチには、赤門が描かれている（松田陽「赤門周辺の歴史的環境 200年の軌跡と奇跡」）

★言わない

- 命じられたあと一行がどうしたかを、記録を超えて言わないでください

この物語のもとになった小ネタ

- #10　鎖国のあいだ、西洋で日本と交易を許されたのはオランダだけだった
- #44　江戸城で将軍に会ったオランダ商館の一行は、踊れと命じられた
- #101　オールコックが住んだ東禅寺と、いまに残る公使館の時代の建物
- #55　夜に襲われた東禅寺の英国公使館で、書記官は梁（はり）の下で助かった
- #96　モースは Kaga Yashiki の正門を毎朝眺め、スケッチした

番号は小ネタの紙の番号です。詳しくは、それぞれの小ネタの紙で。

記録の言葉

ほか引用 10 件は紙に載せていません（2ページに収めるため）

原本の画像を 8 枚載せていません（2ページに収めるため）

お客様用の紙には、原本の画像を 2 枚載せていません（2ページに収めるため）

『ケンプェル江戸参府紀行』下巻（異国叢書、駿南社、昭和4年） 一次

> 『立てよ』、『彼方此方に行けよ』、『身を廻はせ向き直れ』、『舞へ踊れ』と命じ。余には特に歌を唄ふことと命じたり　p.50

Edward S. Morse『Japan Day by Day, 1877, 1878-79, 1882-83』Vol. I（Boston and New York: Houghton Mifflin, 1917） 一次

> It is difficult to realize that less than ten years ago the Shogun was in power, … No foreigner was allowed to live in Yedo, nor could he ever visit it unless he was a high official of some foreign Government, and here we are roaming round the city unguarded and unmolested.　p.375

 © 2026 Rekishi-Neta